



こんにちは、令和4年度GIGAスクールサポーターです。

GIGAスクールサポーターだより第3号では、岡山県の小学校で実践された事例を紹介いたします！

[事例紹介—6年社会、歴史学習でのICTの活用]

NHK for Schoolの動画、デジタル教材で豊かな学習を

☆NHK for Schoolには、子ども一人一人の端末から自由にアクセス可能

☆NHK for Schoolは、動画をはじめとしてデジタル教材の宝庫

☆綺麗な画質で、拡大やマーキング等が自由にでき、歴史的資料を満喫

本事例は、NHK for Schoolの「歴史にドキリ」という教材を用いて実践されています。単元名は、「信長・秀吉・家康と天下統一～異なる資料を使って、情報を集めよう～」です。実践された先生は、戦国時代のイメージを共有する際の資料配付を、ICTを用いて行っていました。私が本実践で魅力に感じたところは、「長篠合戦屏風」の画像を1人ひとりに配信していた場面です。1人ひとりに配信することで、拡大やマーキング、画面一覧などの機能を使いながら気付きを共有できることでした。



洛中洛外図屏風

以上について、なぜ魅力を感じたかという点、私事ではありますが、先日、友人と米沢市立上杉博物館に足を運び、「上杉本洛中洛外図屏風」を鑑賞した経験があったからです。皆さんは、「洛中洛外図屏風」を

じっくり眺めたことはありますか。私は、米沢市立上杉博物館で鑑賞するまで、じっくり眺める経験がありませんでした。しかし、屏風を眺めていると、当時の時代背景が沢山詰まっていることに気がきます。さらに、洛中洛外図屏風に顔を近づけてじっくりと見てみると、金閣寺や清水寺、餅をついている町人の様子等が描かれており、見れば見るほど屏風の面白さに引き込まれていきました。

当時描かれた資料をもとに、歴史を理解していく。その手段として、ICTが活用されることは、大変魅力的だと感じています！また、綺麗な画質で拡大することができるため、紙媒体には無い可能性を秘めていると思います。

是非、参考にしてみてください♪